势山界布

リヂストン副社長、 社員の私だった。

うとしていた。私たちは合 寄贈したのが六三年。その 留米市に石橋文化ホールを 橋正二郎が郷土の福岡県な 年に発足した久留米音協合 団は発足五周年を迎えよ 合唱団の持ち歌として 団の持ち歌をと考え、当 ブリヂストン創業者の石

かべたエツ舟に乗ってい 四人は船頭さんが料理した 科の海魚で、夏になるとこ 四人の男が筑後川下流に浮 年)の六月だったと思う。 た。エツはカタクチイワシ エツを前に、九州一の大河 の川をさかのぼってくる。 九六八年(昭和四十二 ることになったのだった。 長の義兄の團さんに依頼す の丸山豊さんに、作曲は社 作詞は久留米の医師で詩人 快く引き受けてくださり、 時の石橋幹一郎社長に助力 をお願いした。 丸山さんから届いた詩 石橋社長は

なる、川に仮託した人々の の祭」「河口」の五章から ーダムにて」一銀の魚」一川 『筑後川』は「みなかみ」

が秘める物語を、それぞれ

指揮する團氏

年の秋に予定され サートは二度延期 ていた初演のコン

◇初演から30年、團伊玖磨氏と作成したCDが完成◇

則

届いたのが演奏会 せざるを得なから 日前だった。 がそろったのは三 の十七日前。楽譜 た。楽譜の一部が どで歌われている。 書に載り、全国の卒業式な □」は中学校の音楽の教科 病後の指揮、涙あふれる

六八年十二月

money

間四郎さん、龍頭文吉郎ブ そして 事務局役の私も、團さんのハーモニーに到達するには 域を歩いて曲想を練った。に納得できるメロディーと 旅のお供をした。

なかった。詩と格闘した末一宅に何度も伺ったが、その一つとなった。最終楽章「河 だが、團さんの筆は進ま一う。神奈川県葉山町のご自 時間が必要だったのだろ

> から熱いものが伝い落ち るころには團さんの両の目

> > た。作詞の丸山さんもすで さんも昨年亡くなってい 今はなく、探し当てた船頭

に旅立たれている。

この曲の誕生から開花、

た。「これでいこう」。

が国を代表する合唱組曲の が十二万部以上売れて、我 だった」と回想している。 化ホールのステージに立っ た。指揮台の團さんは腕を 振り、体を反らせ、団員の 力を絞り出した。演奏が終 ルに富んだ快い初演の夜 やがて『筑後川』は楽譜 緊張に包まれて石橋文 事終えて楽屋に戻った團さ 指揮台に立った。演奏を無 ンサートだったからだ。 筋梗塞(こうそく)で倒れ、 んの目からは涙が流れてい

圏さんはそう言って私の手 この模様はNHKテレビ

> 奏を収めたCD『筑後川』 こうして新旧ふたつの演

> > と思う。完成したばかりの

のCDを聴いていただくの 余。少しでも多くの人にこ 成熟までを見つめて三十年

が、一人残った私の使命だ

CDをささげ、團さんの遺

影にそう誓った。(なかの

ともかく團さんと私はCD と團さんは言っていたが、 のか」という問い合わせが のファンから「CDはない ったのかもしれませんね て、逆にCDは出しにくか ぜかCDは出ていなかっ 奇せられた。ところが、な で放送された。すると全国 一曲が有名になりすぎ ができあがった。しかし、 隔てて同じ曲の棒を振るし 一人の指揮者が三十年を

紛争のため式が見送られ、 業は一九七一年六月。大学 二十一世紀になった節目に っても実際の卒

か わしくないと言われ 見れば、私ほどユニ 物理学に最も似つか そうだ。学生時代も ークな人間はいない

ナ日、六十八人の合唱団員 奇跡的に回復した團さんが トは團さんにも特別の意味 初めて指揮するのがこのコ があった。前年の九月に心 談して三十周年記念コンサ 石橋文化ホールで團さんは ートを企画した。コンサー 同年十二月十三日、同じ 果てた私は、懐深くしまっ されていた。テープが終わ さんの「花の街」まで、 声、会場と一緒に歌った関 さんを紹介する團さんの のテープを取り出した。 ていた『筑後川』初演の時 ンサートの一部始終が録音 を告げるアナウンス、丸山 モノラルだが、初演開始

国で客死された。

いた龍頭さん、

本間さんも

あの時のエツ舟に乗って

Dはギネスブックものかも

しれないね」と言っていた

團さんは、このCDを聴く

しともなく五月十七日、

中

た。「指揮台が狭く、落ち た三十年先が見えてきた」。 るかと思ったよ。これでま さんの声は大きかった。

遺影に曲の伝承誓う

卒業した。とい 大学物理学科を 日、晴れて東京 今年六月九

くれた。懐かしい顔 の卒業式。を開いて 大学側が三十年ぶりの。幻

ン久留米工場総務課長)

・まさのり=元ブリヂスト

ころからの夢を実現した。 究めて後に医者になったと いろ風情。とても物理学を 京芸大に再入学し、子供の NHK交響楽団のバイオリ いう努力家には見えない。 淵美代子(<br />
川姓・滝沢)さ ニストの根津昭義さんも東 は優しい肝っ玉母さんと

ただメンバーから

へと転勤になっていた私 その後、久留米から東京

筑後川」初演を

(68年12月20日)

なり、九八年に團さんと相

は、再び久留米工場勤務と

の團伊玖磨さん、医師で久 に思い描いていた。 四人というのは、作曲家

留米音協合唱団指揮者の本

営みと命への賛歌だった。

團さんはエツ舟に乗り、流

一てみたが納得しない。困り

での演奏のほかに何を入れ 作りに取りかかった。 三十周年記念コンサー

曲のテープをいくつも聴い 過去に自分が指揮した合唱 るかで難航した。團さんは

物理学科の二十人余 いところだが、実は が並んだ、と言いた